

# なごや希少種シンポジウム2026

～レッドデータブックなごやの改訂を終えて～

## <プログラム>

### 報告

昨年、10年ぶりの改訂となる『レッドデータブックなごや2025』を発行しました。本シンポジウムでは、これからの名古屋市の生物多様性を考える上で重要な減少が著しい種、今後発見が見込まれる種、環境指標性が高い種などの注目種や外来種の情報について、専門家が報告します。

### 懇談会

各分類群の専門家と来場者が、生きものについて気軽に懇談します。

日時 2026（令和8）年**3月22日**（日）14時～17時（**13時30分** 開場）

場所 <sup>こじょう</sup>**鯨城ホール**（伏見ライフプラザ 5階）（中区栄一丁目23番13号）

定員 **200名**（当日先着順） **入場無料**



主催 名古屋市環境局 **なごや生物多様性センター**

## 交通アクセス

### ○地下鉄

「伏見駅」6番出口より南へ徒歩7分

「大須観音駅」4番出口より北へ徒歩7分

※ ご来場は、公共交通機関をご利用下さい。



## ■タイムテーブル

14時00分 **開会・あいさつ**

14時05分 **基調講演 レッドデータブックなごやの改訂を終えて**

講演：芹沢 俊介（愛知教育大学 名誉教授）

14時15分 **報告① 注目しておきたい絶滅危惧種候補の植物**

講演：長谷川 泰洋（名古屋産業大学 大学院環境マネジメント研究科 准教授）

**報告② 鳥類グリーンデータリスト作成の基準は？**

講演：金澤 智（日本野鳥の会 愛知県支部・名古屋市立大学 大学院医学研究科）

**報告③ クサガメは外来種？**

講演：矢部 隆（日本カメ自然誌研究会）

**報告④ ヒガシニホンアマガエルとヌマガエルの現状**

講演：藤谷 武史（名古屋市緑政土木局 東山動物園職員）

### 休 憩

15時10分 **報告⑤ 川岸の植生はなぜ魚にとって重要か？**

講演：谷口 義則（名城大学 人間学部 教授）

**報告⑥ 都市部に残る希少種と消える普通種（昆虫類）**

講演：戸田 尚希（名城大学農学部 昆虫学研究室 研究員）

**報告⑦ 偶産種の取り扱いについて（クモ類）**

講演：加藤 修朗（日本蜘蛛学会 会員）

**報告⑧ ミナミヌマエビの仲間の外来種**

講演：中嶋 清徳（名古屋港水族館 飼育展示第一課長）

**報告⑨ 貝類の気になる外来種**

講演：川瀬 基弘（東海化石研究会 会員）

16時20分 **懇談会**

3つのグループに分かれて、各分類群の専門家が皆さんの質問にお答えします。日頃、皆さんが気になっている、生きものに関するちょっとした疑問にもお答えしますので、お気軽にご参加下さい。

第一グループ（植物）：種子植物、シダ植物の専門家が対応します。

第二グループ（脊椎動物）：鳥類、は虫類、両生類、魚類の専門家が対応します。

第三グループ（無脊椎動物）：昆虫類、クモ類、エビ・カニ類、貝類の専門家が対応します。

17時00分 **閉会**

## ■ 申込み等

事前の申し込みは不要です。ただし、当日定員（先着200名）に達した場合は、入場をお断りすることがありますので、あらかじめご承知おき下さい。

## ■ 問合せ先

〒468-0066 名古屋市天白区元八事 5 丁目 230 番地

名古屋市環境局 なごや生物多様性センター

電話：052-831-8104 Eメール：bdnagoya@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

